

受給申請者の23%を不認定

宇治市が認定基準改悪 534人を認定せず

宇治市

「就学援助費が増えたから」と認定基準を改悪



本来の自治体の仕事

困っている人を助けることではないのでしょうか

就学援助制度は、収入の少ない家庭の児童生徒の学用品や給食費、修学旅行費などを市が援助する制度で、全ての子に教育を受ける権利を保障するうえで大切な制度です。

宇治市は、就学援助費などが「毎年増え、財政

圧迫の要因となっていることを理由に就学援助受



給の認定基準を4月から変更（洛太し、標準世帯（夫婦と

子2人）で給与収入総額の基準460万円を概ね396万円に改悪しました。その結果、市は前年度から引き続き援助継続を申請した2253人のうち534人（23%）を不認定（前年度は153人）としました。

就学援助を受けている子がH13年度は全体で受

給の認定基準を4月から変更（洛太し、標準世帯（夫婦と

増えています。

困っている市民を助けるのが自治体本来の仕事です。ところが、「就学援助費が増えて財政を圧迫するから」と、基準を改悪して援助を必要とする児童生徒を切り捨てるのは、本末転倒です。

市民の命と暮らしを守るべき市長の責任が果たされているのか

お年寄りを差別する後期高齢者医療制度

市民の命と暮らしを守るべき市長の責任が果たされているのか

「自治体にとっては迷惑」（宇治市長）

お年寄りの怒りと願いに応えるより、自治体の都合が大事な市長発言

危険と人々の命

天ダム再開発と1500万の放流 国交省の強引な計画案を

「歓迎する」と市長談話

天ヶ瀬ダム、宇治川堤防を危険にし、景観破壊の計画に、なぜ歓迎か

就学援助

収入が少ない家庭への支援

続々届く市民アンケート
602通 市民は 市政 評価せず

宇治市政に



65%

市民ネットが取り組んでいるアンケート。5日現在602通の回答が寄せられています。

宇治市政の評価は、「不満」65%、「普通」24%、「分からない」10%、「満足」0%です。

アンケートの声より

●開浄水場は閉鎖しないでほしい。災害時、浄水場が1カ所使えなくても、生活用水の確保ができる（40代、女性、会社員）。

●小学生の子どもがいますが、医療が「4才未満」までしか助成されないのは、とても不満です（30代、女性、アルバイト）。

市民とともに歩む市政を

市民の声を大切に、誰もが安心して暮らせる宇治へ

みんなの宇治

2008年8月 NO.162

21宇治市民ネット

宇治市宇治区藤原120-1
市民センター
宇治民商会内

ujisiminnet@yahoo.co.jp

署名を呼び掛けると「こんな運動が必要や」

びしびし大きな反応

国保署
1時間で100筆以上
医療と国保を良くする宇治の会

○7月10日、近鉄小倉駅前1105筆
「(国保料が)今年からかなりあがった」「高い。何とかならんか」「宇治は他より、こんなに高いんですか。知らなかった」「こんな運動が必要や。目にも見えるようにやってや」「うちはおじいちゃん、おばあちゃんもいるし…」(20才ぐらいの若者などの声。



署名行動の参加者からも、「近くの商店の人も署名に応じてくれました。関心も高いと思いました」と感想が寄せられています。

○7月24日、JR宇治駅前1112筆
通りがかりの高校生も「うちのオトウも、高くなったと言ってた。がんばって

天ヶ瀬ダム・宇治川署名

署名ビンビン 自治会での取り組みにも

○中宇治地域のマンション管理組合理事会に署名を提案すると



「しよう」という話となり、「管理組合」の名で、署名

をよびかけることになり、各戸に配られました。

○「防災を考える会」と「中宇治をよくする会」

が、署名行動を行いました。中宇治地域の町内会長をたずね、署名をお願いすると「回覧したら



子ども医療費

呼び掛けると 署名用紙を預かってくれる

○神明地域の子育てサークルを訪問し「署名」協力をお願いすると、6枚の署名を預かってくれました。

○20代の若いお母さんが、ご近所の方に署名協力をお願いすると「今は夏休みやけど、9月に幼稚園がはじまったら、知り合いから集められるよ」とうれし返事。

市民アンケートに たくさんのお声

○「子どもなんて、すぐ病院にかかるのに4歳未満まで200円なんておかしい。中学生までにするべき!!このままでは宇治市では子育てしづらすぎる。城陽市から引っ越してきたがもどろうかと思う」

いいんですね」とうれしい反応がありました。

○木幡・六地藏地域では、7月26日、「天ヶ瀬署名」をもって、訪問。その場で署名28筆が寄せられ、4軒の方が「集めます」と署名を預かってくれました。「洪水の経験も、うちは3回あった」「1500トン放流はムチャクチャや」「ゼネコンとか、儲かる人のためや」「危険で心配していた」などの声が次々と寄せられました。なかには、「うちは自民党支持」という方や「創価学会員」という方も署名してくれ、反応がビンビンよせられました。

“みんなでつなげよう 子育ての輪” つどい in 宇治



内容：講演ほか
「届けよう!子どものねがい・親のねがい」
宮里六郎さん

入場無料

8月29日(金)
午後7時~9時
生涯学習センター

熊本学園大学教授、著書「『荒れる子』『キレル子』と保育・子育て」など多数。
主催・宇治市職労保育所分会協議会